

# 図書館だより

平成29年度 第3号  
伊丹西高等学校 図書館  
平成29年7月14日

無駄な努力なんて無い  
目には見えなくても  
絶対に何かになって帰ってくる  
自分じゃ  
気づかんかもしれんけどね  
絶対に帰ってくるで

きむ『思い描く世界に』より

努力が目に見える形で帰ってくることは少ないです。しかし、この詩のように目に見えていなくても、やってきた努力は何かになって帰ってきます。私が部活動の大会前に友人からもらった詩です。プレッシャーをものすごく感じていましたが、この詩によって気が楽になったのを覚えています。

自分がこれまでにしてきたこと、今していること、これからしていくこと、何一つ無駄なことはありません。勉強においても、部活動においても、どれが1番良い方法か、その時に分かるものではないです。取り組み、結果が出て初めて良い方法だった、自分に合っていた、と分かるものです。

では、どうすれば？まず、取り組んでみましょう。何でもいいです。0よりも1取り組むことが大切なのです。何事においても今までの、今現在の、これからの取り組みが0なのか、1なのかで大きく異なります。

もうすぐ夏休みがきますね。長い休みをどう過ごしますか。どの学年にとっても何に対しても過ごし方次第で大きく成長できるときです。自分の成長を0のまま変わらずにしたいですか、1に変えたいですか。決めるのはあなた自身です。有意義な夏休みを過ごしてください。

# 校外学習（図書館・博物館見学）について

今年度は関西大学総合図書館の見学を計画しています。併設されている博物館も見学する予定です。三年前に見学させていただいた時には学芸員の方から丁寧な説明をしていただき、銅鐸や種子島銃のレプリカなどを実際に触らせてもらうこともできたのですが、今年はキッズミュージアムの開催と重なってしまいました。レクチャーは受けられませんが、事前予約の不要なイベントには参加できるかもしれません。参加を希望する人は先日配布した承諾書を提出してください。（18日（火）を締切としていましたが終業式の日まで受け付けます）

**関西大学博物館**  
**キッズ 2017 Kids Museum**  
**ミュージアム**

**8/2 (水) 8/3 (木)**  
**10:00~16:00**  
 (開場・受付/9:50~)

**参加費 無料**

**事前申込制**

- 水エアーニマル**  
 水の科学(液体表面張力)の真の秘密を探ろう。水の性質を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円  
 ●10:30~14:00、15:00~の3回実施
- 丹波竜のちーたんと一緒に作ってみよう!**  
 丹波竜のちーたん(トイレットペーパー)の作り方を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円  
 ●10:30~13:00、14:30~の3回実施
- 飛鳥考古案かた!**  
 飛鳥時代ってどんな時代? 案かたを持って遊びながら学ぼう!  
 ●参加費: 300円~500円  
 ●10:30~13:00、14:30~の3回実施
- はくふつかんのお宝**  
 ハクフツカンの土器、銅鐸なども、中心の展示スペースで、展示の裏側を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円
- 本のポップを作ろう!**  
 本のポップ(展示用)の作り方を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円  
 ●10:30~13:00、14:30~の3回実施
- 3Dリリージョン折り紙教室**  
 折り紙の新しい楽しみ方を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円  
 ●10:30~13:00、14:30~の3回実施

**自由参加制**

- キャンパス昆虫探検隊**  
 キャンパス内を探索して昆虫を探そう。  
 ●参加費: 300円~500円
- 博物館**  
 展示品の石や土器、銅鐸の作り方を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円
- 紙ひこうき**  
 紙ひこうきの作り方を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円
- 英語絵本を楽しもう!**  
 英語絵本の読み聞かせを体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円
- 宇宙の世界**  
 宇宙の不思議を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円

**同時募集**

- 万葉書作家 鈴木高亮先生監修 一日書道教室**  
 万葉集の書道体験。  
 ●参加費: 300円~500円
- ひらめきまきまきサイエンス**  
 科学の不思議を体験しよう。  
 ●参加費: 300円~500円

**関西大学博物館**  
 〒564-8680 大阪府吹田市府中 3-3-35  
 TEL:06-6368-1171 FAX:06-6368-9928  
<http://www.kansai-u.ac.jp/Museum/>  
 E-mail: info@kansai-u.ac.jp

# 夏季休業中の図書館の閉館について

前期補習期間中を除き閉館となります。前期は7月31日（月）まで閉館。後期補習期間中は図書館を補習授業に使用するため閉館扱いとします。

閉館時間は8：30～16：30。

## 読書感想文の書き方

一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で恋をしたり旅をしたり、人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。本は人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友達です。

毎年、夏休みにつきものの読書感想文です。本はめったに読まない人、読んではいるが感想を書くのはいやだという人も、ちょっとしんどいけれど、頑張っってこの課題に取り組んで下さい。

### 1 選書について

- ・一冊だけ読んでそれで書こうとすると書けません。いい物を書こうとすれば、やはり少なくとも四・五冊読んでその中でもっとも書きたいと感じた本を選ぶことです。
- ・読んで楽しい本と、良い感想文の書ける本は必ずしも一致しません。

### 2 読み方

3段階で読む。(1日でかたづけようと思わないこと。書くことを考えて、逆算して取りかかること。)

1段階目 …… 大まかな感想、感動をメモする。

2段階目 …… 付箋(はがせるタイプのもの)などを付けながら、立ち止まって読む。

- ・腹立たしいところ
- ・じーンときたところ
- ・初めて知ったこと
- ・共感したところ
- ・疑問に思ったところ
- ・似たような体験をしたところ

3段階目 …… マークしたところを中心に、重要と思われるところを紙に書き出して、自分の考えを書き加える。

### 3 書き出しの工夫

① 自分の体験と重ね合わせて書く。

例文【私の祖母は、長い間リュウマチという病気で苦しんでいます。指の骨がまがったままで仕事をするので、時々痛そうに顔をしかめます。私はこの本を読んで、祖母のことを思い出しました。】

② 本を読んだ動機から書く。

例文【私がこの本を手にとったのは、表紙に書かれている女の人が素敵だったからです。そして「きっと、明日は」という題も気に入りました。】

③ 本を読んだ感動から書く。

例文【この本を読み終わったとき、私はしばらくぼんやりと考えていました。江崎さんの病気と闘う姿が目に見えるように思われたからです。】

④ 疑問に感じていることから書く。

例文【友達のお母さんが「神様が人間にお与えになっている幸福の量って恐ろしいほど平等なのよ。」といったが、僕にはどうしてもそのことが信じられなかった】

⑤ 本文の一番心に残ったことから引用してから書き始める。

例文【「どうせ」は、自分から希望や可能性をつぶしてしまう言葉です。僕はこの文章を読んだときに、はっとしました。僕もよく使っている言葉なのです。】

⑥ 会話から始める。

例文【「この本は、きっと感動すると思うよ。」5月の初めにNさんが貸してくれました。私は一気に一晩で読んでしまいました。】

- ・ このほかにも書き出しの方法は工夫すればたくさんあると思います。是非、自分自身の個性を生かした書き出しを考えてみて下さい。書き出しがうまくいけば、後は一気に書ける場合が多いので、書き出しは大変重要です。

#### 4 結びの工夫

- ・ 書き出しのように特にタイプはありません。普通は書き出しを受けて、まとめることが多いようです。(別に書き出しを受けていなくてもかまいません。)自分の考えの到達点や、読書を通して成長したと感じたことなどを素直に書けばいいでしょう。

#### 5 題名の付け方

- ・ 一番多い題名は『○○○』を読んでです。でもせっかく書いた感想文ですから、人が読みたくなるような題名を考えてみて下さい。自分が一番感動したことや最も言いたいことの中心になるような言葉を考えて題名にすると良いでしょう。

#### 6 文の構成

- ・ 下記のような構成メモを作ってから、原稿用紙に向かって書くと、うまくいきます。  
はじめ …… 大切なこと、自分の主要な感想など (3 書き出しの工夫 を参照)  
な か …… 感想や自分の考え、経験を具体的に (書く順番に配置すること)  
おわり …… まとめ、一番に言いたいこと (大切なことをもう一度書いても良い)

#### 7 よい感想文 (自分の言葉で)

- ・ 上手な感想文よりも、あなたらしい感想文を書くことが大切です。

ヒント

- ・ 自分と主人公の生き方や考え方を比べてみる。
- ・ 自分の経験から得たものを、読んだ本と関連させて、感想の中に入れる。
- ・ 同じ作者の作品や同じテーマの作品と比べてみる。(やや高度だが)
- ・ 本の題名についても考えてみる。(題名に重要な意味が含まれていることがある)

☆ 課題図書は2冊ずつ図書館に置いてあります。